

令和4年度 全国学力・学習状況調査 (高鷲中学校3年生対象 令和4年4月実施)

◎学習調査生徒質問紙による生活状況や学校生活に関する集計より (単位は%)

①朝食を毎日食べていますか

本校 96.1 大阪府(公立) 89.5 全国(公立) 91.9

②毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

本校 82.4 大阪府(公立) 78.9 全国(公立) 79.9

③毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

本校 92.2 大阪府(公立) 91.4 全国(公立) 92.2

④携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

本校 70.6 大阪府(公立) 70.5 全国(公立) 69.5

⑤普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか

	4時間以上	3～4時間	2～3時間	1～2時間	1時間未満	全くしない
本校	40.2	20.6	13.7	16.7	4.9	3.9
大阪府	22.9	14.8	19.5	17.6	14.7	10.3
全国	16.3	13.5	20.5	21.0	16.7	11.9

⑥普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)

	4時間以上	3～4時間	2～3時間	1～2時間	1時間～30分	30分以下
本校	36.3	22.5	22.5	11.8	3.9	2.0
大阪府	21.5	15.4	21.9	21.4	10.3	6.3
全国	15.6	13.9	22.5	23.8	11.9	6.9

⑦自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか

本校 92.2 大阪府(公立) 84.9 全国(公立) 86.6

⑧難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか

本校 72.6 大阪府(公立) 67.3 全国(公立) 67.1

⑨困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか

本校 73.5 大阪府(公立) 68.1 全国(公立) 66.6

⑩学校に行くのは楽しいと思いますか

本校 86.3      大阪府（公立）80.7      全国（公立） 82.9

⑪家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む）

本校 55.9      大阪府（公立）54.5      全国（公立） 58.5

⑫学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日），1日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間，インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

	3時間以上	2～3時間	1～2時間	1時間～30分	30分未満	全くしない
本校	23.5	27.5	14.7	14.7	10.8	8.8
大阪府	13.7	25.5	28.5	13.8	9.8	8.5
全国	9.9	25.3	34.3	17.0	8.5	4.9

⑬土曜日や日曜日など学校が休みの日に，1日当たりどれくらいの時間，勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間，インターネットを活用して学ぶ時間も含む）

	4時間以上	3～4時間	2～3時間	1～2時間	1時間未満	全くしない
本校	4.9	11.8	13.7	30.4	21.6	17.6
大阪府	7.4	11.0	18.0	21.7	22.9	18.8
全国	7.3	13.3	24.3	25.9	19.0	10.2

⑭学校の授業時間以外に，普段（月曜日から金曜日），1日当たりどれくらいの時間，読書をしますか（教科書や参考書，漫画や雑誌は除く）

	2時間以上	1～2時間	30分～1時間	10分～30分	10分未満	全くしない
本校	2.0	10.8	11.8	8.8	7.8	58.8
大阪府	4.3	6.5	11.7	17.4	12.5	47.4
全国	4.6	7.8	14.9	21.3	12.3	39.0

⑮ 1, 2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満
本校	62.7	30.4	4.9	0.0	2.0
大阪府	21.3	21.8	28.6	19.8	8.4
全国	21.6	29.3	29.7	14.2	5.0

⑯ 学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使っていますか

	ほぼ毎日	週3回以上	週1回以上	月1回以上	月1回未満
本校	14.7	24.5	24.5	30.4	5.9
大阪府	6.6	10.2	18.0	30.1	34.8
全国	4.7	10.3	20.3	32.3	32.3

### ◎生活質問紙と、正答率のクロス集計結果より

#### ① 以下の項目において、できていると答えた生徒は、正答率の高い傾向が見られます

- ・ 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりテレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）に費やす時間が3時間未満
- ・ 将来の夢や目標をもっている
- ・ 自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている
- ・ 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している
- ・ 人の役に立つ人間になりたいと思う
- ・ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う
- ・ 家で自分で計画を立てて勉強をしている（学校の授業の予習や復習を含む）
- ・ 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり勉強をする時間がより長い（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）
- ・ 新聞を読んでいる
- ・ 読書は好き

#### ② 学力向上に向けて

学習に向かう姿勢、計画性のある学習態度によって、学習面での向上がみられる  
 将来の夢や目標をもっていたり、難しいことでも失敗を恐れないで挑戦したりしているなど、自分でやると決めたことに前向きに取り組めることは学力向上につながっている  
 平日の学習だけでなく、休日の学習時間を確保することが学力向上につながる  
 新聞を読んだり、読書をしたりする機会が多いほど学習面での向上がみられる

【各教科の分析】

【国語】

《成果と課題》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題ごとに見ると、行書の基本的な知識、漢字の記述等、基礎知識を問う問題に関しては正答率が高く、全国に比べても高い値となっている。反対に、資料を読んで自分の考えが伝わる文章になるように書く問題や、論理展開を考慮して、質問をする問題の正答率が低い。</li> <li>・知識を生かして、表現技法を使ったり、情景の描写と結び付けて場面展開を理解したりするなど、知識を活用して考える問題に対しては半数程度の正答率となっており、持っている知識を生かし切れていないことが多いようである。</li> </ul>
《指導の重点》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各個人の知識を生かすため、知識を活用させる機会を授業中に意図的に作り出していくことで改善につなげたい。</li> </ul>

【数学】

《成果と課題》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「関数」と「データの活用」の領域における正答率が、府平均に比べ低く、大きな課題となっている。「数と式」と「図形」の領域における正答率は、他の領域に比べて高く理解できている。</li> <li>・関数とデータの活用に共通していることは、グラフや表の読み取りや活用である。まず読み取りを不得意とすることが考えられ、正答率の低下につながっている。数学特有の語句(度数や階級)を理解しておらず、読み取りができていない場合と、理解しきれずに読み進めていくが、そこから活用できない場合が多い。</li> </ul>
《指導の重点》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読解力と並行して、データを読み取る力をつけられる授業展開が必要である。</li> </ul>

【理科】

《成果と課題》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの実験を実施したこともあり、結果から考察を記述する問題は正答率が高くなっている。教科書で学習する内容に関しては、記述式の振り返りやまとめに取り組んできたので、無回答率も少なく正答率も高い。</li> <li>・自身が必要としている結果を導き出すための実験計画を立てる設問を苦手としていることが分かった。実験の計画を立てるという機会を増やしていきたい。共通の項目を見つけて分類するというのを苦手としている。学習した基礎知識を、身近な事象に当てはめた問題など、今まで触れたことのない問題にぶつかると、正答率が下がる傾向がある。</li> </ul>
《指導の重点》	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題ごとに見ると、短答式の問題が府平均と比べて極端に低い。テストでは記述をする機会が多くあるが、普段から自分の言葉を用いて表現する機会が少ないことが原因の一つであると考えられる。実験ごとや単元ごとの振り返りの機会において、自分の言葉を用いて表現する機会を増やしていくことを目標としたい。知識の習得を基本としながらも、応用的に利用できる機会を増やしたい。</li> </ul>